

# 「きまりをまもること」(1時間扱い)

授業者 阿保 裕也

## 1. 特別の教科道徳の目標、道徳科の見方・考え方、育成を目指す資質・能力を踏まえた本学習のねらい

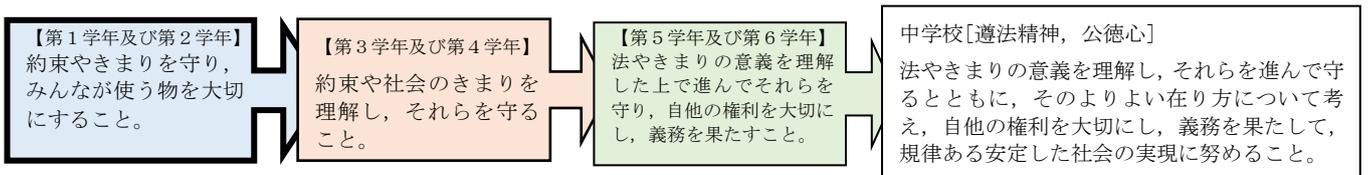
特別の教科道徳の目標	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
	道徳科の見方・考え方
	様々な事象を、道徳的諸価値の理解をもとに自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。
本時のねらい	きまりを守ることよさやきまりの意義について考えたり、思いを交流したりする活動を通して、身近にあるきまりのよさや意義、きまりを守ることの難しさについて考え、身近なきまりを進んで守ろうとする心情を養う。
	日常生活を振り返りながら、きまりの意義やきまりを守ることの難しさについて考えようとしている。

## 2. 本学習について

《主題について》

本学習で取り上げる道徳的価値(内容項目)はC「規則の尊重」であり、第1学年及び第2学年では、「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。」となっている。各学年段階は以下のようになっている。

### 各学年段階での指導の観点(規則の尊重)



規則は、規準、きまり、ルール、など様々な意味を含む用語である。人々が言動を決定する時によりどころとなる外的な判断基準であり、慣習で無意識に規定されているもの、法やルールのように強く言動を規定するものもある。各個人の言動は、規則を自分に取り入れ、自分なりの規範意識を形成し、その規範意識にのっとって行われていると考える。ある規則について、守れている、守れていないというのを確認するのではなく、出来事に対して自分たちがどのような規範意識をもって生活しているのかを考え、議論し、自分たちの規範意識を再認識できるようにしたい。

1年生の発達段階では、周りのことを考えず、自分勝手な行動をとってルールを守ることができなかつたり、ルールを守っているものの「叱られるからやらない」など本質的な部分を考えずに行動していたりということがあがる。また、ルールを守らなければいけないということはわかっているが、自

分の欲求に勝てず守ることができないことは多くある。

今回の学習では、きまりを守ることのよさやきまりの意義、きまりを守ることの難しさについて、自身の経験を交えて考えることや、お互いの意見を交流することを通して、自分たちがもっている「きまりをまもること」についての考え方を整理、再確認できるようにしていきたい。そうすることで、周囲の仲間と与える影響にまで考えを広げられるようにしていきたい。そして、これまでの自分の言動を見つめ直し、これからの自分たちができることを考えることで、身近なきまりを進んで守ろうとする心情を養っていきたい。

#### 《児童の実態について》

4月に入学した子供たちは、幼稚園や保育所にもあったきまりをもとに小学校の生活に適応しながら、学校生活を過ごす中で小学校にあるきまり少しずつ獲得したりしてきている。

しかし、きまりとして認識できていない状況では、状況に合わせた行動ができないことにより、トラブルが起きたり、危険な目に会うこともある。また、きまりとして認識していても、自分の思いを優先してしまい廊下を走ってしまったり、並ぶ順番を守れなかったりしてしまうこともある。

本時では、同じことをしても場所や時間が違えば、他の人に迷惑をかけたり、あぶない思いをさせたりしてしまうことを場面ごとに考えていく。さらに、どうしてきまりを守っているのかを考えることで、一年生なりにきまりの意義について考えていく。そうすることで、きまりを守ることのよさを感じ、身近なきまりを守ろうとする心情を養っていきたい。

#### 《資料について》

本時の学習では、「どうしてかな」（日本文教出版）という資料を使用する。

#### お話のあらすじ

主人公のもんたが、ボール遊びやかけっこをしていて、行う場所（外と教室）や時間（休み時間と掃除時間）によって褒められたり、しかられたりするというお話である。最後には、その状況に対して、「どうしてかな。」という読者に問いかける言葉で締めくくられている。

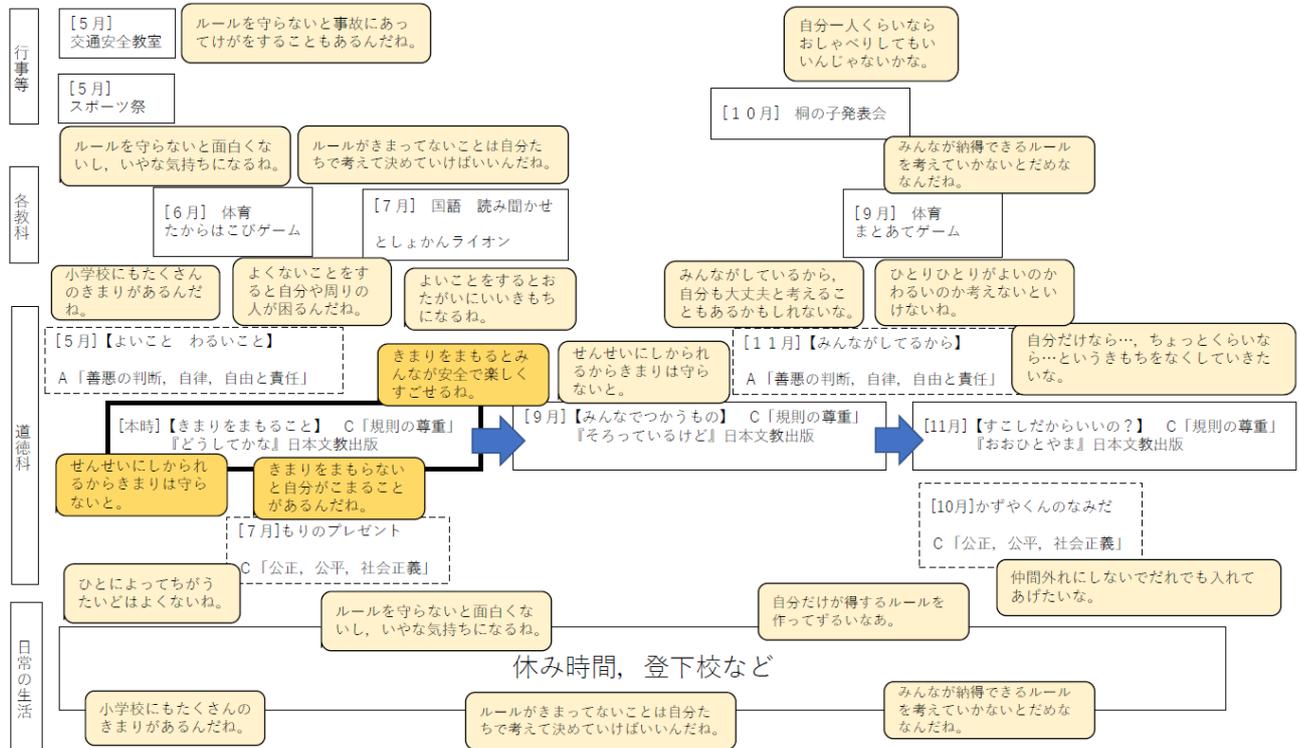
同じ行動をとったにも関わらず、行う場所や時間によって先生に叱られたり、褒められたりするという状況について考えることができる資料である。ボール遊びやかけっこなどの子供たちに身近な設定になっていたり、文章末で「どうしてかな」と問いかける文章あり、子供たちが自然に理由を考えられる工夫があったりするなどの特徴がある。

挿絵も叱られた場面、褒められた場面が描かれており、それぞれの場面を分けて提示しながら、なぜそうなるのかを考えられるようにしていきたい。また、場面を提示しながら、自分達の日常生活と結びつけられるように、教師と子供たち、子供たち同士で対話を行っていきたい。

### 3. 研究との関わり

#### (1) 本学習における、資質・能力の育成を支える「学びの文脈」

周りのことを考え、みんなで楽しく、安全に生活し、自分たちの生活に合ったきまりを創り出して  
いく子供



#### [道徳教育に関わって]

4月当初は小学校には様々なきまりがあり、それを守ることで集団が成り立っていることに気付くようにしていく。規則や善悪の判断、公正、公平に関わる考え方についても人との関わり、ものとの関わりなど様々な対象との関わりを通して少しずつ学んでいく。  
「きまりだからまもる」という考えから、1年生なりの「周りのことを考え、みんなで楽しく、安全に生活し、自分たちの生活に合ったきまりを創り出していく」という意識をもてるようにしていきたい。

#### [道徳科の学習に関わって] C「規則の尊重」

日常生活で普段あまり意識せず守っているきまり。様々な行事や日常生活できまりを守ることができなかつた際には、「どうして守れなかつたのか」「守らないとどんなことになるのか」「どうしたらよかつたのか」などについて指導し、きまりの意義について考えられるようにしていく。読み聞かせでは、きまりを守ることの意義やみんなの思いできまりは変化していくことについて触れる。本時の学習では、きまりを守ることのよさやきまりの意義、きまりを守ることの難しさを再認識できるようにしたい。  
その後の学習では、人との関わりだけではなく、みんなで使う「もの」に関わってのきまりについて学習したり、「みんながやっているから」「ちょっとだけなら」という気持ちできまりを破ってしまうという内容について学習したりする。「善悪の判断、自律、自由と責任」や「公正、公平、社会正義」など他の内容項目や日常生活とのつながりを意識しながら、規則の尊重についての多様な考え方の獲得を目指したい。

## (2) 「学びの文脈」を生み、つなげる具体的手立て

### 手立て① 対話の活性化を図るため、自分の立場を可視化する。

黒板に出された意見の中で自分の考えがどの考えに近いのか、ネームプレートを貼る場面を設定する。自分の立場を明確にすることで、その意見をもった根拠を考えることができたり、その根拠をもとに子供たち同士での対話が生まれやすくなる。また、なかなか自分の意見をもてない子供たちは、意見をもっている子供たちの理由が知りたくなったり、新たな考えがないか考えたりするために対話が生まれやすくなる。対話を通じて、きまりを守ることについての考えを広げられるようにする。

子供たちが必要に応じて話しやすくなり、自分の考えが変わった際にネームプレートを動かしたり話しやすくなるために黒板の前に座って学習を行う。また子供たちの必要に応じてペアやグループで話し合う場を設定する。

### 手立て② 実生活と結び付けたり、理由について考えたりできるような問い返しを行う。

1年生の児童にとって、資料で起きているできごとはあくまでも資料内で起こっていることで、自分のこととして考えるのは難しい。そこで、できごとを整理しながら、実生活と結びつけられるような問い返しを行う。そうすることで、普段の生活とつなげて考えることができたり、きまりを守る難しさについても気づくことができたりする。考える。

また、自分も持っている考えの根拠を整理したり、よりよい意見がないのか考えたりすることができるように、考えをゆさぶる問い返しを行う。「どうして」と理由を問うたり、「もし〇〇だったらどうする」と仮定の話をしたりするなどして、「どうしてきまりを守るのか」「どうして守れないことがあるのか」「もっとよい考えはないのか」など、より多面的な考え方をすることができる。考える。

### 手立て③ 学びと日常生活がつながる資料の提示を行う。

日常生活と学びの中で出た自分たちの思いや考えがつけられるような、子供たちの日常生活の写真や校内の写真を提示する。

展開の後半で、校内の写真を見ながらきまりを思い出す活動をする。学びを意識しながら「自分はどっだったかな」「これからは気をつけていきたいな」という思いを高められる。考える。

振り返りには、普段の子供たちの活動の様子がわかる写真を提示する。そうすることで、日常の具体的な場面を意識した振り返りができると考える。

(3) 本時案

<p>本時のねらい          きまりを守ることよきまりの意義について考えたり、思いを交流したりする活動を通して、身近にあるきまりのよさや意義、きまりを守ることの難しさについて考え、身近なきまりを進んで守ろうとする心情を養う。</p>	
学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ 教師が範読しているのを聞き、挿絵を見ながら場面を整理する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">こまっている もんた におしえてあげよう。</p> <p>○ もんたが同じことをしていても、しかられたりほめられたりする理由について考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">廊下で走ったらけがをしてしまうかもしれないよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">きまりを守っていないから、しかられているのかな？</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%; margin-top: 5px;">教室なのにボールを投げてあぶないよ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%; margin-top: 5px;">掃除の時間に遊ぶとみんなこまってしまうね。</div>	<p>☆ 共通点を見出すことができるよう、しかられた時、ほめられた時に分けて板書を行う。</p> <p>☆ <u>児童の考えをゆさぶったり、理由について考えたりできるような問い返しを行う。【手立て②】</u></p> <p>☆ その場面の登場人物の気持ちが視覚的にわかるよう、登場人物の気持ちを表す顔のマークを使用し掲示する。</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">どうしてきまりをまもっているのかな？</p> <p>○ 自分たちがどうしてきまりをまもっているのか考える。  <b>【学習形態】 個人→ (ペア・グループ) →全体</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">親や先生にしかられないためかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">自分がけがしてしまうこともあるよ。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%; margin-top: 5px;">守った方が、みんなが安全だね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%; margin-top: 5px;">きまりを守った方が、みんなが楽しいよ。</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">学校にはどんなきまりがあったかな。</p> <p>○ 校内の写真を見ながら、学校にどんなきまりがあるのか考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">ろうかを走っていけないんだよね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">けがをしてあぶないね。でも、走ってしまうこともあったな。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%; margin-top: 5px;">玄関ではしっかり並んで待つんだっただね。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%; margin-top: 5px;">ならべていないこともあったね。でも、今度からは並びたいね。</div>	<p>◇ 日常の生活を振り返りながら、何のためにきまりがあるのか考えようとしている。 <span style="float: right;">評価</span></p> <p>☆ 子供たちが必要に応じて話しやすくしたり、自分の考えが変わった際にネームプレートを動かしやすくしたりするために黒板の前に座って学習を行う。</p> <p>☆ <u>自分の立場や考えを明確にする教具を用いることで、対話の活性化を図る。【手立て①】</u></p> <p>☆ <u>学びと日常生活がつながる資料の提示を行う。【手立て③】</u></p> <p>☆ <u>児童の考えをゆさぶったり、理由について考えたりできるような問い返しを行う。【手立て②】</u></p>
<p>○ 日常の生活の写真を見ながら、本時の学習を振り返る</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">きょうの学習を振り返ってみよう！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">みんなに迷惑をかけないように、時間を守って遊びたいな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 45%;">廊下を走らないで、安全に生活したいな。</div> </div> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 10px;">きまりを守ることは大切なんだね。</p>	<p>☆ <u>学びと日常生活がつながる資料の提示を行う。【手立て③】</u></p>